

2022年4月9日

東北6県・新潟エリアにおける  
「再生可能エネルギー出力制御」の指示について

東北6県・新潟エリアにおいては、再生可能エネルギー（以下、「再エネ」という）発電設備の導入が進んでおり、当社は、当社電力系統に接続している火力発電設備の出力抑制や揚水発電設備の運転、また、地域間連系線を活用した広域的な系統運用等により、需給バランスの維持に努めております。

しかしながら、これらの対策を行ってもなお、供給力が需要を上回る場合には、電力の安定供給を維持する観点から、「優先給電ルール<sup>※</sup>」に基づき、再エネ発電設備等の出力制御を行う必要があり、発電事業者さまへ出力制御に向けた準備をお願いしております。

（2018年12月7日東北電力よりお知らせ済み）

こうした中、明日（4月10日）の需給見通しを検討した結果、昼間時間帯（8時～16時）において太陽光の発電が高出力となり、供給力が需要を上回ることが見込まれるため、本日、発電事業者さまに対し、東北6県・新潟エリアとしては初めてとなる、再エネ出力制御の指示を行いました。指示内容については別紙のとおりです。

なお、出力制御の見通しや指示内容等については、当社ホームページ「東北6県・新潟エリアでんき予報」の「再生可能エネルギー出力制御見通し」にて、お知らせしております。

当社といたしましては、今後とも、電力の安定供給に万全を期しながら、再エネの最大限の活用と導入拡大に努めてまいります。

以上

※「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法施行規則」および電力広域的運営推進機関の「送配電等業務指針」において定められている、需要と供給のバランスを一致させるために、需要の変動等に応じて、稼働中の電源等に対する出力制御の条件や順番を定めたもの。

（別紙）「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線運用容量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア：東北エリア 本土

2022年度実績

〔2022年4月9日現在〕

[万kW]

通し番号 <sup>(注1)</sup>		1						
出力制御内容	発信日	4月9日(土)16時頃 (前日指示)						
	再エネ出力制御期間	4月10日(日) 8時00分～16時00分						
	最大余剰電力発生時刻	11時30分 ∩ 12時00分						
	再エネ出力制御量	12 <sup>*</sup> ～38						
予想需給状況 <sup>(注6)</sup>	エリア需要 <sup>(注2)</sup> ①	738						
	大容量蓄電池の充電・揚水運転 <sup>(注3)</sup> ②	46						
	域外送電 <sup>(注4)</sup> ③	337						
	小計	1,121						
	供給力 <sup>(注5)</sup> ④	1,159						
	(再掲)再エネ出力	(642)						
再エネ出力制御必要量 <sup>(注5)</sup> (⑤=④-①-②-③) ⑤	38							

(注1) 前日に制御指示を行うものの、当日の需給状況により出力制御指示を実施しない場合もあるため、制御を実施した日数とは一致しない

(注2) 最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要

(注3) 揚水発電所を最大限活用

(注4) 北海道本州間および東北東京間連系線を最大限活用し、域外へ送電

(注5) 優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制

(注6) 当日見直しがあった場合は、速やかにお知らせ

※オフライン制御で確保する制御量

【特記事項】

- ・実績（速報）は制御量最大となる時間帯（出力制御がない場合は前日指示時間帯）
- ・再エネ出力制御量のうちオフライン制御量を超えるものは、需給状況を踏まえ、オンライン制御で対応